

平成21年度 事業実績報告書

申請者の概要

申 請 者	団体名	熊取町商工会		
	代表者職・氏名	会長 下中 一晃		
	所在地	〒590-0451 大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20		
	担 当 者	職・氏名	事務局長 廣瀬 正和	
		連 絡 先	電話番号（直通）：	072-453-8181
F a x：			072-453-8183	
E - m a i l：	kumatori@silver.ocn.ne.jp			
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		昭和59年7月10日 6名（内経営指導員 6名） 熊取町 1,298（平成18年度事業所統計調査による） 1015（平成18年度事業所統計調査による） 667（51.4%）（平成22年3月31日現在）		
□主な事業概要（定款記載事項等）				
①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。 ⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。 ⑬外国人研修生の受入れに関する事業を行うこと。 ⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事務を行うこと。				

各種データ

熊取町商工会

経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	2	57	0	50	69	126	1	0	0	0	305	64	社 社
建設業	0	47	6	39	30	68	0	0	0	0	190	76	
小売業	0	228	0	138	52	40	0	0	0	0	458	123	
卸売業	0	6	0	6	10	1	0	0	0	0	23	7	
サービス業	0	198	0	133	61	52	0	0	0	0	444	137	
その他	1	21	0	17	26	45	0	0	0	0	110	31	
小計	3	557	6	383	248	332	1	0	0	0	1,530	438	
創業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	3	557	6	384	248	332	1	0	0	0	1,531	439	401

※その他の内訳

{ }

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	8	22	0	22	89	128	1	0	4	0	274	56	社 社
建設業	0	28	1	28	90	94	0	0	0	0	241	67	
小売業	0	72	1	45	130	38	0	0	0	1	287	82	
卸売業	0	2	0	0	10	1	0	0	0	0	13	3	
サービス業	0	47	0	52	184	67	0	0	0	0	350	98	
その他	0	24	0	22	58	41	0	0	0	0	145	63	
小計	8	195	2	169	561	369	1	0	4	1	1,310	369	
創業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
合計	8	197	2	169	561	369	1	0	4	1	1,312	370	320

※その他の内訳

{ 特許 }

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

熊取町商工会**(1) 事業の目標**

一般経営相談・情報提供事業：事業者が抱える課題の把握と、その解決に向けた適時・適切な支援を行い、又不在事業所への再フォローなどきめ細やかな相談指導を行う。巡回指導件数1,100件、窓口指導件数800件を目標とする。

課題別経営相談支援事業：昨年度の活動を鑑み、昨年度に引続き、事業者の課題解決に繋げる相談会を実施する。

専門人材等連携促進事業：IT関連の講座の要望もあり引き続き行う。雇用面等の問題も踏まえ経営の一助として労務や経営セミナーを実施し役立てもらう。

地域活性化事業：地場産業の販路開拓として、イラストプリントタオルを製品化し、販路開拓を行う。また、新たな地域活性化に繋がる製品調査や定額給付対策事業を行い商工業の振興活性化を行う。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

巡回・窓口相談については、会員・非会員を問わず様々な情報を発信し、各種関係機関と連携を図りながら、相談指導やコーディネート等を実施。

課題別経営相談支援事業については、巡回・窓口相談等の相談内容を踏まえ、金融支援のマル経融資の斡旋、記帳支援・労務支援・特許商標支援を実施。

専門人材等連携促進事業については、IT講習会は、パソコンの活用による弥生会計システムやPOP、請求書等の作成についての講習会を実施。また、労務セミナーは、雇用安定助成金や社会保障制度についての講習会や相続・事業継承についての経営セミナー・経済講演会を実施。

地域活性化事業については、地場産業活路開拓事業では、はまのゆかさんのタオル、パンフレットが完成し、販売やPR等販路開拓に努め、特産品開発事業は商標や酒飯店等の調整が付かず地酒復刻は断念せざる終えなかった。地域活性化事業では煉瓦館を拠点とイベントを実施し、町内産業PRや起業家の掘り起こし等を行う。また抽選券付プレミアム商品券事業では、定額給付金対策として、町、関係機関の協力のもと抽選券付プレミアム商品券3000セットを発行129社が参加、抽選会等を行うなど商業振興に努めた。

(3) 事業を実施した効果

巡回・窓口相談については、会員、非会員を問わず様々な情報を発信し、各機関等とも連携を図り、相談指導・コーディネート等を実施し、新たに49社が商工会へ加入、各々の企業への相談指導業務に努めている。

課題別経営相談支援事業においては、企業が抱える様々な問題を支援すべく、金融支援・記帳支援・労務支援・特許商標支援を実施し企業の問題解決等に努めてきた。

専門人材等連携促進事業については、IT講習会や経営・労務セミナー経済講演会を実施し参加者より好評を得ることができた。

地域活性化事業については、はまのゆかさんのタオル並びにパンフレットが完成し、販売を開始、はまのさんや町等の協力のもとPR活動や販路開拓に努めているほか、歴史的建造物の煉瓦館を拠点としたイベント等を実施し新たな起業家や町内産業のPR等に努めてきている。また定額給付金の消費を町内事業所へ促すべく抽選券付プレミアム商品券を発行し、消費者・事業所より効果的であったと好評を得られた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

景気の底冷えが続き、製造業・建設業においては受注量の減少や価格の低価、商業においても同様に、消費の冷え込み、大型店等との競争により厳しい状況が続いており、先行きの不透明感が不安を与えている状況である。はまのゆかさんのタオルが完成し、はまのさんや町等の協力により順調に推移しており、パンフレットの完成を受け、販路開拓・PR活動に努める。本商工会としても町内商工業の振興発展の為相談指導業務を強化し各種事業を積極的に実施遂行に努める。

(5) 来年度への取り組み

各々の事業所が抱える課題や問題点の把握と解決策を講じ、会員・非会員を問わず地域に密着した支援を強化し、また新たな事業を創出する事業所等への支援や事業者の把握等適時・適切な支援相談を行い、各種支援機関との連携を強化し専門家等による経営相談等の個別相談や研修会等を開催し、また地域活性化事業を実施し地域振興、活性化の一助として実施し、きめ細やかな相談指導・支援に努め地域産業の振興に繋げて行く。

熊取町商工会

I 一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

事業者に対し、様々な情報を発信し、事業者が抱える経営課題や諸問題を把握することにより、その解決策に向けた適時・適切な相談指導サービスを行うべく、様々な提案や各支援機関等への連携を図りコーディネートを行う。また、非会員に対しても事業所への情報提供や相談指導サービスを行うことにより新たな商工会加入への掘り起こしを行い49件の新規加入を頂き、今後も遂行し、商工業の振興に努めた。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	1,100	1,531	139.2%	90.0	5
窓口相談	相談件数	800	1,312	164.0%	90.0	5

II 課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

金融支援については、会員等へマル経枠等について指導啓発を行い、借入希望者には、希望に添えるよう日本政策金融公庫と連携を図り、支援に努め目標値を上回る36件の斡旋を行う。記帳支援については各事業所レベルに応じ記帳指導の支援を行っている。労務・税務・特許支援については、高度で複雑な問題や課題に対して解決すべく専門家を招聘しその対応を行ない、解決や問題の糸口を見出すことができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	斡旋件数	30	36	120.0%	90.0	5
記帳支援	継続	指導事業所件数	7	7	100.0%	100.0	5
税務支援	継続	相談件数	4	8	200.0%	100.0	5
労務支援	継続	相談件数	2	2	100.0%	90.0	5
特許商標支援	継続	相談件数	2	2	100.0%	90.0	5

III 専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

IT講習会は、パソコンの活用として、弥生会計ソフトの操作や見積・納品・請求書の作成を行いまたPR等の一環としてPOP作成講習会を行い操作等習得頂け、受講者には大変好評を得られた。また従業員雇用維持等のための中小企業緊急雇用安定助成金制度や採用への助成金制度や社会保障等を習得頂き受講者には好評であった。また経営セミナーは、相続トラブル・事業継承について習得頂き好評を得られた。経済講演会は、時流を踏まえた講演を頂き今後の事業運営の参考として実施し受講者より好評を得ることができた。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	IT講習会	継続	延べ参加人数	40	170	425.0%	100.0	5
	労務セミナー	新規	延べ参加人数	10	13	130.0%	90.0	5
	経営セミナー	新規	延べ参加人数	10	6	60.0%	90.0	4
	経済講演会	継続	延べ参加人数	30	61	203.3%	100.0	5

IV 地域活性化事業

支援のポイント・成果

地場産業活路開拓事業：地場製品の販路開拓・PRを行うべく、はまのゆかタオルが完成し、販売並びにPR活動に努め好評を得ており、パンフレットも完成した。

特産品開発事業：地酒の復刻に向け調査を行ってきたが、商標や酒販店等との調整が付かず復刻することができなかった。

地域活性化事業：歴史的建造物を有効利用し、イベント等を実施し、新たな企業家や町内産業のPRを行い商工業の振興活性化に繋げていくべく「商工祭わいわいフェア」「手作り作品の展示販売」等町・各種団体と連携を図り推進し、来場者5000人出展者42件で事業者には好評であった。

抽選券付プレミアム商品券事業：定額給付金により町内消費を促すべく抽選券付プレミアム商品券を3000セット発行参加企業129店舗で、町広報へ掲載するなど実施遂行し、消費者並びに参加事業者には好評を得られた。

合同企業就職面接会事業：事業所の人材確保の一助として6月21日に実施し、採用者は無かったものの事業者には有効的なものであった。

大阪勧業展事業：事業所の取引先の拡大等販路開拓の一助とし、2社が出展し商談等もあり好評であった。

地域創造ファンド事業：地域資源を活用した事業に、事業所に啓蒙し地域活性化に寄与すべく努めた。

地域力連携拠点(泉州地域)事業：経営革新、創業支援等を活用し、事業所等に啓蒙し地域の活性化に寄与すべく努めた。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
○	地場産業活路開拓事業	継続	タオル製品の開発	タオル昨年度の継続完成	タオルの完成	100.0%	100.0	5
	特産品開発事業	新規	地酒の復刻	復刻に係る調査研究	復刻断念	90.0%	80.0	4
	地域活性化事業	継続	会議イベント回数	38	35	92.1%	90.0	5
	抽選券付プレミアム商品券事業	新規	会議イベント回数	5	4	80.0%	90.0	5
	合同企業就職面接会事業	新規	面接会参加企業数	1	2	200.0%	80.0	4
	大阪勧業展事業	継続	展示会参加企業数	1	2	200.0%	100.0	5
	地域創造ファンド事業	継続	申請企業数	1	0	0.0%	80.0	4
	地域力連携拠点(泉州地域)事業	新規	支援企業数	1	0	0.0%	80.0	4

熊取町商工会

事業名	地場産業活路開拓事業				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	2008年(開始)～未定年(終了)		今年度2年目		
実施期間全体を通じて予定している事業計画	2009年はまのゆかイラストタオル完成、パンフレット作成 2010年販路開拓				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	地元出身のイラストレーターのはまのさんに原画を依頼し、サンプル作成を現在進めている。色見本ができ修正中であるが、色見本のサンプル品を大阪勤業展に展示、関心をもって頂いた。しかし商談には繋がらなかったため、今後は販路開拓に力を入れていく予定である。			
本事業の対象となる地域の現状や課題	地場産業であるタオル、綿スフ織物製造業者は、海外からの安価な製品におされ衰退の一途をたどっている。地場産業の活性化、振興にあたり新製品開発や既存製品の改良など推進してきたが、価格面や性能アップをしても販売へ繋げることが難しいのが現状である。商品の魅力機能としてイラストレーターのはまのさんのイラストを使ったタオルを製作、また既存製品等販路開拓を行うことで地域活性化へ繋げて行く。				
目標に対する実績	指標	タオル製品の開発			
	目標数値	タオル昨年度の継続完成	実績数値	完成	達成率 100.0%
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・はまのゆかタオルの完成 ・パンフレットの作成 ・地場タオル製品の販路開拓・PR 				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	4月プリント色合意 6月はまのゆかタオル完成(バスタオル・フェイスタオル・ハンドタオル・ミニハンカチ)、ショップひまわりにてはまのゆかタオル発売開始、熊取町駅前ギャラリー展示・商工会ホームページへのアップ、はまのゆかさんのホームページにおいてもアップ紹介、熊取町の記念品等への紹介・プレミアム商品券の賞品に採用。6月20日～7月5日京都国際マンガミュージアムにおいてはまのゆか展開催原画展示並びにタオルの販売。10月7日～8日大阪勤業展にて展示商談、またイベント等へ参加PRを行う。3月パンフレットが完成。				
マスコミ等に取り上げられた回数	3				
PR方法とその影響	商工会・はまのゆかさんのホームページへの掲載、駅前ギャラリーへの展示PR、熊取町よりプレス発表やはまのさんの個展でのPR。6月30日産経新聞に掲載、8月22日ニュースせんなんに掲載、また、ケーブルTV(J-COM)「旬!瞬!りんくう、輝っ人コーナー」で10月1日～15日まで毎日2回放映。ホームページ等のPRで地方からの問合せや購入希望もあり反響は大きい。				
利用者満足度(点)	100				
事業評価	5				
実施した効果	はまのゆかタオルが完成し、はまのさんや町等の協力によりPRや販売についても順調で効果的であった。販売についても当初製造分の完売のアイテムも追加生産している。また展示会等へ出展し販路拡大を推進し、商談1件成立するなど好感触を得られた。パンフレットが完成し委員の意識も高揚し販路開拓へと意欲が見られる。				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	行政・学校関係や観光産業・お祭り・各種団体等へパンフレットのDM発送先の絞込みや展示会等に出展しPR・販路開拓活動を行い、また町内ではまのさんの個展を開催など検討し販路開拓に努めていきたい。				
事業全体の収支状況	収入	支出			
	府補助金 625,000 商工会負担 463,080	印刷製本費用 824,250 旅費・事務費 13,830 指導員活動費 250,000			
計	1,088,080	計	1,088,080		